


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和4年11月9日

山北町議会議長 児玉 洋一 殿

受付番号	第2号	質問議員	9番	大野 徹也	
件名	(仮称)山北スマート IC 周辺土地利用の整備効果は				
要 旨					
<p>過日、中日本高速道路は高松トンネル工事の遅れにより「あと2年9か月くらい開通が遅れることになる」と明かした。町の新たな玄関口として一刻も早い開通と開設が待たれるスマート IC は、町長が所信表明の2つ目の政策に掲げ、「スマート IC を最大限に生かした政策」として地元住民はもとより、山北町全体で期待をるところであるが、周辺土地利用構想でのスマート IC の整備により期待される効果の具現化は、国・県への要望活動や関係機関などへの働きかけが必要と感じ、先に示されたスマート IC 周辺土地利用構想の中から以下の質問をする。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 「観光振興への寄与」として、山北町の主要観光施設へのアクセス性向上による観光入込客の増加、および工業団地等へのアクセス性向上による新たな企業誘致の促進とある。 国道246号線へのアクセス性向上策は。2. 「救急医療サービスの向上」として、高度救命救急センターまでのアクセス性向上による救急医療体制の充実と、「災害時の代替ルートの確保」として、防災対策としての地域拠点形成とある。 具体的な体制の充実と地域拠点の形成は。3. 「広域的な地域活性化への期待」として、地域活動の連携による更なる地域振興とある。 期待される地域振興は。					